

令和元年度
医療介護総合確保法に基づく県計画

令和2年1月

青森県

目 次

1. 計画の基本的事項	1
(1) 計画の基本的な考え方	1
(2) 都道府県医療介護総合確保区域の設定	1
(3) 医療と介護の総合的な確保に関する目標及び計画期間	2
(4) 目標の達成状況	6
2. 事業の評価方法	7
(1) 関係者からの意見聴取の方法	7
(2) 事後評価の方法	7
3. 計画に基づき実施する事業	8
(1) 事業の内容等	8
① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備	8
② 医療従事者の確保	1 3
③ 介護施設等の整備	3 2
④ 介護従事者の確保	3 3

1. 計画の基本的事項

(1) 計画の基本的な考え方

急速に少子高齢化が進む中、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる令和7年（2025年）を見据え、限られた資源を有効に活用し、必要なサービスを確保していくため、医療及び介護サービスの提供体制の改革が必要となっている。

本県では特に、急速な高齢化や医師不足等の医療課題を抱えており、これまでも『良医』を育む「グランドデザイン」に基づく医師不足の解消、自治体病院の機能再編成を進めているほか、平成26年6月に成立した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」に伴う改正医療法に基づき、平成28年3月に青森県地域医療構想を策定し、地域の実情を踏まえながら、病床の機能分化と連携を推進し、効率的かつ質の高い地域医療サービスを確保していくための施策に取り組んできたところである。

また、保健・医療・福祉サービスを必要な時に適切な内容で、総合的・一体的に提供するために関係機関が連携を図る仕組みである「保健・医療・福祉包括ケアシステム」の構築を推進する中で、介護予防を通じた健康づくり、相談支援体制の整備、必要なケアを切れ目なく提供する環境づくりに取り組んできたところである。今後も高齢化率の上昇が見込まれる中で、高齢者が自立した日常生活を営むことができるよう、一人ひとりのニーズを的確に捉え、必要な介護サービスを受けられる体制の整備と、質の高い介護サービスを担う介護従事者の安定的な確保に一層取り組んで行く必要がある。

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するため、令和元年度においては、これまでの取組をさらに強化・発展させ、本県の喫緊の課題に対応するための取組を本計画に盛り込むものである。

(2) 都道府県医療介護総合確保区域の設定

本県における医療介護総合確保区域については、二次保健医療圏及び老人福祉圏域と同じとする。

圏域名	構成市町村名
津軽地域保健医療圏 津軽地域老人福祉圏域	弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町
八戸地域保健医療圏 八戸地域老人福祉圏域	八戸市、おいらせ町、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村
青森地域保健医療圏 青森地域老人福祉圏域	青森市、平内町、外ヶ浜町、今別町、蓬田村
西北五地域保健医療圏 西北五地域老人福祉圏域	五所川原市、つがる市、鯨ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町
上十三地域保健医療圏 上十三地域老人福祉圏域	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村
下北地域保健医療圏 下北地域老人福祉圏域	むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村

(3) 計画の目標の設定等

■ 青森県全体

1. 目標

医療及び介護の総合的な確保に向け、病床の機能分化・連携の推進及び医療従事者の確保・養成を図るとともに、在宅医療提供体制の整備により、地域における医療連携体制の充実を図る。

介護施設の整備により一人ひとりのニーズに合わせた介護サービスを受けられる体制を整備するとともに、質の高い介護サービスを担う介護従事者の確保を図る。

(目標とする指標は、事業ごとに設定。)

① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標

【定量的な目標値】

- ・地域医療構想で記載する令和7年度に必要な医療機能ごとの病床数
高度急性期 1,157床
急性期 4,070床
回復期 4,238床
慢性期 2,362床
- ・地域医療構想上整備が必要な回復期機能の病床を年間200床増加
- ・事業縮小に伴い、他の用途に改修等される病床数 70床 (R1年度)
- ・病床の機能を回復期機能へ転換する医療機関数 5か所 (R1年度)
- ・広域的な病院再編に伴う施設整備支援数 1か所 (R2年度)
- ・回復期機能へ施設整備を行う医療機関数 3か所 (R1年度)
- ・地域医療構想アドバイザーの設置人数 3人 (R1年度)
- ・新たに整備される中核病院の医師確保数 2名増加 (R2年度)
- ・一般病床の平均在院日数 18.0日 (H28年度) → 減少 (R1年度)
- ・多職種連携研修受講者数 200人 (R1年度)

② 介護施設等の整備に関する目標

平成30年3月に策定された「あおり高齢者すこやか自立プラン2018 (第8期青森県老人福祉計画・第7期青森県介護保険事業支援計画)」(計画期間：平成30年度～平成32年度)に基づき、地域密着型サービス施設の整備を支援することで、本プランの基本理念である「高齢者が生きがいを持ち、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる青森県」の実現を目指す。

【定量的な目標値】

- ・地域密着型特別養護老人ホーム 1,191床 (46か所) → 1,336床 (51か所)
- ・小規模多機能型居宅介護事業所
1,251人/月分 (56か所) → 1,298人/月分 (62か所)
- ・認知症高齢者グループホーム 5,199床 (335か所) → 5,274床 (341か所)

- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 4か所 → 7か所
- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所
51人／月分（6か所） → 123人／月分（14か所）
- ・介護事業所内保育施設 6か所 → 7か所
- ・介護医療院 30床（2か所） → 332床（6か所）

③ 医療従事者の確保に関する目標

【定量的な目標値】

- ・医師臨床研修マッチング数 71名（H26年度） → 採用率全国平均以上（R1年度）
- ・上十三地域の医師数 117.4（人口10万対）（H26） → 現状値以上（R1）
- ・キャリア形成プログラムの作成数 3本（3人）（R1年度）
- ・特別枠の修学資金貸与医師数（基金により対応した者）に対するキャリア形成プログラム参加医師数の割合 100%（R1年度）
- ・手当支給施設の産科・婦人科医師数 69人（H29年度） → 76人（R1年度）
- ・産科医及び産婦人科医数（人口10万対）
6.8（H28.12.31現在） → 8.9（R1年度）
- ・産科医に対する分娩手当支給医師数 76人（R1年度）
- ・産科医に対する手当支給施設数 23施設（R1年度）
- ・小児科医療に係る病院勤務医数（人口10万対）
7.1（H28現在） → 9.1（R2年度）
- ・新生児医療担当医に対する分娩手当支給医師数 16人（R1年度）
- ・へき地医療拠点病院の常勤医師数 84名（H25年度） → 85名（R1年度）
- ・脳神経外科医数（人口10万対） 3.9（H28.12.31現在） → 5.8（R1年度）
- ・寄附講座の設置 1講座（R1年度）
- ・むつ総合病院の非常勤医師数 1,938人（平成29年度） → 増加（R1年度）
- ・医師送迎用専用車両運行日数 244日（R1年度）
- ・死亡総数に占める感染症が死因の割合 1.5%（H28年度） → 1.4%（R1年度）
- ・感染症対策研修会参加人数：各100名（R1年度）
- ・県内の医療施設に従事する女性医師数 417人（H28年度） → 440人（R1年度）
- ・女性医師相談窓口（青森県医師会設置）への相談等件数 年間90件
- ・看護職員離職率 8.6%（H27年度） → 8.1%（R2年度）
- ・医療勤務環境改善センターの支援により新規で勤務環境改善計画を策定する医療機関
1病院
- ・小児人口10万人当たりの小児科及び小児外科の医師数
92.4人（H26年） → 増加（R1年）
- ・津軽圏域の輪番参加病院数 4病院（R1年度）
- ・子どもの救急搬送件数 1,580件（H26年度） → 1,402件（R1年度）
- ・一相談日あたりの小児救急電話相談件数 9.3人（H25年度） → 12.9人（R1年度）
- ・病院内保育所の運営費を支援する病院数 1施設（R1年度）
- ・ナースセンター斡旋による就業者数 280人／年（H28年度） → 増加（R2年度）

- ・ハローワークと連携した復職相談件数 100 件 (R1 年度)
- ・新人看護職員離職率 7.0% (H27 年度) → 6.8% (R2 年度)
- ・新人看護職員研修事業実施施設の新人看護職員数
306 人 (H27 年度) → 336 人 (R1 年度)
- ・養成学校卒業生の県内就業率 55.8% (H27 年度) → 増加 (R2 年度)
- ・保健師助産師看護師実習指導者講習会受講修了者数 32 人/年 維持
- ・養成学校卒業生の県内就業率 55.8% (H27 年度) → 増加 (R2 年度)
- ・看護教員養成講習会未受講者 16 人 (H28 年度) → 減少 (R2 年度)
- ・支援する看護師等養成所の数 8 校 10 課程 (R1 年度)
- ・認定看護師数 179 人 (H28 年度) → 240 人 (R2 年度)
- ・看護教員養成講習会未受講者 16 人 (H28 年度) → 減少 (R2 年度)
- ・看護教員養成講習会へ受講させた養成所数 2 校 (R1 年度)
- ・認定看護師等教育課程へ受講させた病院数 8 病院 (R1 年度)
- ・看護職員の環境整備に取り組む整備医療機関数 3 か所
- ・日本糖尿病登録歯科医の増加 47 名 (H30) → 50 名 (R1 年度)
- ・医科歯科合同研修会を受講した医師、歯科医師等の人数 延べ 300 人 (R1 年度)

④ 介護従事者の確保に関する目標

介護職員の増加を目標とする。そのためには、介護職員に対する適正な処遇の確保が不可欠であり、実際に職員の処遇を行う介護サービス事業所が、職員の処遇改善に対して真摯に取り組む必要がある。

本県では、介護サービス事業所認証評価制度を人材確保対策の中心におき、認証事業所を県民や介護職員を志す学生・求職者に広く周知するとともに、県が行う助成や指定等、介護保険に関する事業の指標として本制度を位置づけ、認証事業所を重点的に支援していくこととする。

併せて、ノーリフティングケア事業や ICT の導入事業などによる労働環境の整備にも力を入れ、人材確保に資すると考えられる事業を広く実施していくこととする。

【定量的な目標値】

- ・ あおもり介護の魅力発信フェスティバルの開催 来場者数：800 人
- ・ 介護技術コンテストの開催 来場者数：100 名
- ・ 県民を対象とした介護の仕事の大切さを伝えるためのセミナー及び研修の開催
受講者数：500 名
- ・ 介護施設の求人・求職の調整 マッチング件数：70 名
- ・ 小中高生を対象とした介護教室の開催 開催回数：90 回、参加者数：900 名
- ・ 認証評価制度の普及 参加宣言事業所累計数：180 事業所、
認証された事業所累計数：45 事業所
- ・ 介護ロボットの導入 導入施設数：5 施設
- ・ 新介護職員を対象とした交流会の開催 参加者数：90 名
- ・ 新介護職員を対象とした相談・支援制度の整備に向けた研修の開催 受講者：120 名

■ 医療介護総合確保区域（津軽地域、八戸地域、青森地域、西北五地域、上十三地域及び下北地域）の目標及び計画期間

1. 目標

県全体に同じ

2. 計画期間

県全体に同じ

(4) 目標の達成状況

別紙「事後評価」のとおり。

2. 事業の評価方法

(1) 関係者からの意見聴取の方法

平成30年8月7日～9月14日

医療分について医療機関、関係団体、市町村から事業提案募集
(照会先)

県内全病院、市町村、弘前大学、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、
県看護協会、県理学療法士会、県作業療法士会、県臨床工学技士会、
全国自治体病院協議会青森県支部、青森県自治体病院開設者協議会、
全日本病院協会青森県支部、県立保健大学

平成31年3月18日

県医療審議会において意見聴取（医療分）

○ 介護分

平成30年8月27日～9月28日

介護分について市町村、関係団体から事業提案募集
(照会先)

青森県医師会、青森県歯科医師会、青森県看護協会、青森県精神保健福祉協会、
青森県薬剤師会、青森県理学療法士会、青森県作業療法士会、青森県言語聴覚士会、
青森県介護支援専門員協会、青森県介護福祉士会、青森県社会福祉士会、
青森県社会福祉協議会、日本認知症グループホーム協会青森県支部
青森県ホームヘルパー連絡協議会、青森県老人福祉協会、青森県老人保健施設協会、
青森県国民健康保険団体連合会、青森県老人クラブ連合会、
認知症の人と家族の会青森県支部

平成31年3月19日

あおもり高齢者すこやか自立プラン推進協議会において意見聴取（介護分）

(2) 事後評価の方法

計画の事後評価にあたっては、県医療審議会、あるいは個別分野に関して設置されている協議会等の意見を聴きながら評価を行い、必要に応じて見直しなどを行うなどにより、計画を推進していく。

令和元年度地域医療介護総合確保基金(医療分)個別事業調書

(1) 事業の内容等

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 1 (医療分)】 病床機能分化・連携推進施設設備整備事業	【総事業費 (計画期間の総額)】 1,510,560千円
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全体	
事業の実施主体	医療機関	
事業の期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域医療構想で必要とされる回復期病床4,238床の確保及び2,804人の在宅医療等への移行推進のため、医療機関の病床機能転換及び在宅医療に取り組む医療機関の体制を整備する必要がある。</p> <p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要整備量に対する令和元年度基金での整備予定病床数 回復期：200床 ・事業縮小に伴い令和元年度基金により他の用途に改修等される病床数 70床 	
事業の内容	<p>急性期から回復期、在宅医療に至るまで、一連のサービスを地域において総合的に確保するため、病床の機能分化、連携を推進する以下の取組を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域医療構想の実現に向けて、個別の医療機関が行う地域で不足する回復期病床への転換等に伴う施設・設備整備の支援 ② 病床利用率の低下等を踏まえた病床削減や必要とされる医療機能の充実を図るなど、地域医療構想に基づく病床機能の分化・連携を進め、地域全体の医療課題解決を図ることを目的とした自治体病院機能再編成等の広域的な病院再編に伴う施設整備支援 ③ 地域医療構想実現に向けた医療機関の施設整備（回復期転換以外の改修・改築）等の支援 ④ 地域医療構想推進研修会の開催及び地域医療構想アドバイザーの設置 	
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・病床の機能を回復期機能へ転換する医療機関数：5か所（R1年度） ・広域的な病院再編に伴う施設整備支援数：1か所（R2年度） ・回復期機能へ転換以外の施設整備を行う医療機関数：3か所（R1年度） ・地域医療構想アドバイザーの設置：3人 	

アウトカムとアウトプットの関連	<p>・地域医療構想実現に向けて、回復期病床の確保等の医療機関が行う施設・設備整備を支援するほか、地域の病院再編成により、急性期機能を中心とした中核病院を整備することで、周辺医療機関の回復期機能を担う体制整備を促進する。</p>						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円) 1,510,560	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 未定
基金		国(A)	(千円) 504,104	民		(千円) 未定 うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)	
		都道府県 (B)	(千円) 252,052				
		計(A+B)	(千円) 756,156				
		その他(C)	(千円) 754,404				
備考(注3)	基金所要見込み R1年度：582,838千円 R2年度：173,318千円						

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 2 (医療分)】 自治体病院等の機能再編促進事業	【総事業費 (計画期間の総額)】 30,000千円
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域	
事業の実施主体	市町村	
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域医療構想に基づき、地域で不足する回復期病床を確保するため、病院再編成により、主に急性期機能を担う中核となる病院を整備することで、周辺の医療機関が回復期機能を担う体制を構築する必要がある。特に、津軽地域においては、民間病院の医師不足等により、病院群輪番制の参加病院が減少しており救急医療体制を維持することが困難となってきたことから、二次救急医療体制の再構築が必要である。</p> <p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の回復期病床数：R7 必要病床数を確保 (津軽地域：1,244床、八戸地域：1,082床、青森地域：1,127床、西北五地域：246床、上十三地域：371床、下北地域：168床) ・津軽地域の二次救急医療体制の構築 (R1 年度) 	
事業の内容	<p>地域医療構想において、津軽地域の自治体病院等の機能再編成による機能分化・連携を掲げ、その方向性として新たな中核病院を整備して、中核病院を中心とした二次救急医療体制を再構築することとしており、医療機能発揮のため、整備事業の一環として救急医療を担う医師を確保していく必要がある。</p> <p>地域の救急医療機能を強化するため、整備される中核病院が弘前大学から医師の派遣を受け、二次救急医療機能を発揮するために必要となる市町村が行う医師確保対策に対し支援する。</p>	
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに整備される中核病院の医師確保数 2名増加 (R2 年度) 	
アウトカムとアウトプットの関連	<p>地域の病院再編成により、急性期機能を中心とした中核病院を整備することで、二次救急医療体制の構築及び周辺医療機関の回復期機能を担う体制整備の促進による回復期病床の増加が見込まれる。</p>	

(様式3：青森県)

事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円) 30,000	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 10,000
		基金	国(A)	(千円) 10,000		民	(千円)
			都道府県 (B)	(千円) 5,000			うち受託事業等 (再掲)(注2)
			計(A+B)	(千円) 15,000			(千円)
		その他(C)		(千円) 15,000			
備考(注3)							

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業						
事業名	【No. 3 (医療分)】 医療介護連携促進事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 4,000 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全体						
事業の実施主体	県、医療機関						
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域医療構想で必要とされる回復期病床 4,238 床の確保及び 2,804 人の在宅医療等への移行推進のため、医療機関の病床機能転換及び在宅医療に取り組む医療機関の増加及び機能強化を図る必要がある。</p> <p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要整備量に対する令和元年度基金での整備予定病床数回復期 200 床 一般病床の平均在院日数 18.0 日 (H28 年度) → 減少 (R1 年度) 						
事業の内容	地域医療構想の達成に向けて病床の機能分化・連携を進めるため、回復期機能への転換を図る医療機関や、在宅医療に取り組む医療機関及び介護サービス事業所等の機能強化及び連携体制構築のため、各地域においてその地域の資源の状況や課題に応じた多職種の連携研修を実施する。						
アウトプット指標	・多職種連携研修受講者数：200 人 (R1 年度)						
アウトカムとアウトプットの関連	地域医療構想達成に向けて必要とされる回復期機能病床の整備を促進し、また、入院患者が在宅医療等へ移行できる体制を構築するため、医療介護連携が必要である。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 4,000	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
	基金	国 (A)	(千円) 2,666		民	(千円) 2,666	
		都道府県 (B)	(千円) 1,334			うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)
		計 (A + B)	(千円) 4,000			(千円) 2,666	
		その他 (C)	(千円)				
備考 (注3)							

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業						
事業名	【No. 4 (医療分)】 地域医療を支える医師確保事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 116,699 千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全体						
事業の実施主体	県						
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	<p>病床の機能分化・連携を推進するため、地域医療支援センターの運営によりそれぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要</p> <p>アウトカム指標： 医師臨床研修マッチング数 71名 (H26年度) →採用率全国平均以上 (R1年度) (マッチング率 H25年度：全国 76.07%、本県 54.20%) 上十三地域 (人口10万対医師数で最も少ない圏域) の医師数 117.4人 (人口10万人当たり) (H26) → 現状値以上 (R1)</p>						
事業の内容	地域医療に従事する医師のキャリア形成の支援と一体的に医師不足病院への医師の配置等を行うための地域医療支援センターの運営を行う。						
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成プログラムの作成数：3本 (3人) (R1年度) ・特別枠の修学資金貸与医師数 (基金により対応した者) に対するキャリア形成プログラム参加医師数の割合：100% (R1年度) 						
アウトカムとアウトプットの関連	キャリア形成プログラムを作成し、地域医療に従事する医師のキャリア形成上の不安解消を図るとともに、医師派遣・あっせんにより医師の地域偏在等の解消を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 116,699	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 77,799	
	基金	国 (A)	(千円) 77,799		民	(千円)	
		都道府県 (B)	(千円) 38,900				
		計 (A+B)	(千円) 116,699				うち受託事業等 (再掲) (注2)
		その他 (C)	(千円)			(千円)	
備考 (注3)							

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 5 (医療分)】 産科医等確保支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 78,993 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	産科を有する病院、診療所、助産所					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>病床の機能分化・連携を推進するため、分娩手当の支給により、周産期医療を担う産科医の確保が必要</p> <p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手当支給施設の産科・婦人科医師数 69人 (H29年度) → 76人 (R1年度) ・ 産科医及び産婦人科医数 (人口10万人対) 6.8 (H28.12.31現在) → 8.9 (H28全国平均) を目指した増加 (R1年度) 					
事業の内容	産科を有する病院、診療所及び助産所において、分娩を取り扱う医師が分娩手当を支給されている場合、その一部を補助する。					
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産科医に対する分娩手当支給医師数：76人 (R1年度) ・ 産科医に対する手当支給施設数：23施設 (R1年度) 					
アウトカムとアウトプットの 関連	・ 分娩手当の支給により、産科医及び産婦人科医の確保を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 78,993	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 8,358
		基金	国 (A)	(千円) 17,554		
			都道府県 (B)	(千円) 8,777	民	(千円) 9,196
			計 (A+B)	(千円) 26,331		うち受託事業等 (再掲) (注2)
			その他 (C)	(千円) 52,662		(千円)
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 6 (医療分)】 新生児医療担当医確保支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 2,376千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	産科を有する病院、診療所、助産所					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>病床の機能分化・連携を推進するため、分娩手当の支給により、周産期医療を担う新生児医療担当医の確保が必要</p> <p>アウトカム指標： ・小児科医療に係る病院勤務医数（人口10万人対） 7.1（H28現在）→9.1（H28全国平均）を目指した増加（R2年度）</p>					
事業の内容	産科を有する病院、診療所及び助産所において分娩を取り扱った際に、新生児担当医に手当を支給している医療機関を対象として、その手当の一部を補助する。					
アウトプット指標	・新生児医療担当医に対する分娩手当支給医師数 16人（R1年度）					
アウトカムとアウトプットの 関連	・分娩手当の支給により、新生児医療担当医の確保を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 2,376	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 528
		基金	国(A)	(千円) 528		
			都道府県 (B)	(千円) 264		(千円)
			計(A+B)	(千円) 792		うち受託事業等 (再掲)(注2)
			その他(C)	(千円) 1,584		(千円)
備考(注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 7 (医療分)】 地域で活躍する良医育成推進事業	【総事業費 (計画期間の総額)】 140,000 千円
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体	
事業の実施主体	県、八戸市、下北医療センター	
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>病床の機能分化・連携を推進するため、寄附講座の設置等により、それぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要</p> <p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へき地医療拠点病院の常勤医師数 84名 (H25年度) →85名 (R1年度) ・産科医及び産婦人科医数 (人口10万人対) 6.8 (H28.12.31現在) →8.9 (全国平均) を目指した増加 (R1年度) ・小児科医療に係る病院勤務医数 (人口10万人対) 7.5 (H26.10.1現在) →8.4 (全国平均) を目指した増加 (R1年度) ・脳神経外科医数 (人口10万人対) 3.9 (H28.12.31現在) →5.8 (全国平均) を目指した増加 (R1年度) 	
事業の内容	<p>地域医療構想の実現に向けて、地域の中核となる病院の医療機能を充実させるために、次の取組を実施</p> <p>①弘前大学への寄附講座の設置により、各圏域で必要となる医師 (産科・小児科・整形外科・総合診療・脳神経外科ほか) の確保を図る。</p> <p>②県南地域の産科医確保を目的として八戸市が東北大学への委託により実施する産科専門医派遣ネットワーク構築事業への支援</p>	
アウトプット指標	寄附講座の設置：1講座 (R1年度)	
アウトカムとアウトプットの 関連	弘前大学への寄附講座を設置することで、人材を養成するほか、へき地拠点病院等への指導医等の派遣について大学からの協力を得る。	

(様式3 : 青森県)

事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)		(千円) 140,000	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 70,000
		基金	国 (A)	(千円) 70,000		民	(千円)
			都道府県 (B)	(千円) 35,000			うち受託事業等 (再掲) (注2)
			計 (A + B)	(千円) 105,000			(千円)
		その他 (C)		(千円) 35,000			
備考 (注3)							

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業								
事業名	【No. 8 (医療分)】 非常勤医師送迎支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 15,000 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体								
事業の実施主体	医療機関								
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日								
背景にある医療・介護ニ ーズ	病床の機能分化・連携を推進するため、各圏域において長時間の移動を 強いられる医師の負担軽減を図ることで医師を確保し、中核的な病院 の体制を強化する必要がある。								
	アウトカム指標： ・むつ総合病院の非常勤医師数 1,938人（平成29年度）→ 増加（令和元年度）								
事業の内容	弘前大学からの診療応援医師を送迎するための専用車両を運行する ことで、診療応援医師の長時間の運転等の負担軽減を図り、医師の確 保につなげる。 医師不足地域において、中核となる病院の医師を確保することで、 当該病院に留まらず、へき地医療支援病院等の地域の医療機関を支援 することも可能となる。								
アウトプット指標	医師送迎用専用車両運行日数 244日（R1年度）								
アウトカムとアウトプット の関連	送迎用専用車両の運行により、診療応援医師の移動に伴う負担を軽減 し、医師の確保を図る。								
事業に要する費用の額	金 額	総事業費		(千円)	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		(A+B+C)		15,000			5,000		
		基金	国(A)			(千円)	公民の別 (注1)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)			うち受託事業等 (再掲)(注2)
			計(A+B)			(千円)			(千円)
その他(C)		(千円)		(千円)					
			7,500						
備考(注3)									

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 9 (医療分)】 新興・再興感染症対策研修事業	【総事業費 (計画期間の総額)】 912 千円
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体	
事業の実施主体	県	
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
背景にある医療・介護ニ ーズ	近年国内外で新興・再興感染症（鳥インフルエンザ、MERS、ジカウイルス感染症、デング熱など）が発生しており、また、本県を訪れる海外からの観光客が急増している状況の中で、感染症対策の充実強化は喫緊の課題であり、対策の要となる人材の育成・確保が求められている状況にある。	
	アウトカム指標： 死亡総数に占める感染症が死因の割合： 1.5%（H28年度）→1.4%（R1年度）	
事業の内容	<p>①新興・再興感染症対策ブラッシュアップ研修事業 感染症指定医療機関等において感染症対策に携わっている医療従事者等を対象として、最新の世界情勢や知識・技術を習得・維持することにより、引き続き、感染症対策に携わる医療従事者としてのレベルを維持（ブラッシュアップ）するための研修を行い、専門的人員の確保を図る。（参加者数100名程度）</p> <p>②輸入感染症等対応研修事業 一般医療機関の医療従事者等を対象として、輸入感染症等に関する状況や患者受け入れ時の対応などを実践的に習得できる研修を行い、感染症対策の初動に適切に対応できる人材の確保を図る。（参加者数100名程度）</p>	
アウトプット指標	研修会参加人数：各100名（R1年度）	
アウトカムとアウトプットの 関連	研修会に参加した医療従事者等に対して、新興・再興感染症の予防・対策に必要な最新の知識・技術を習得させ、医療機関等における感染症への迅速かつ適切な対応が可能な人材を確保することにより、新興・再興感染症等の発生・まん延を防ぎ、ひいては県民の健康被害の低減につながる。	

(様式3：青森県)

事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円) 912	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 608
		基金	国(A)	(千円) 608		民	(千円)
			都道府県 (B)	(千円) 304			うち受託事業等 (再掲)(注2)
			計(A+B)	(千円) 912			(千円)
		その他(C)		(千円)			
備考(注3)							

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 10 (医療分)】 医師相談窓口設置事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 4,545千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	県 (青森県医師会委託)					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	病床の機能分化・連携を推進するため、女性医師等の就労支援によりそ れぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要 アウトカム指標： ・ 県内の医療施設に従事する女性医師数 417人 (H28年度) →440人 (R1年度)					
事業の内容	出産・育児及び離職後の再就業に不安を抱える女性医師等のための受 付・相談窓口を設置・運営する。					
アウトプット指標	・ 女性医師相談窓口 (青森県医師会設置) への相談等件数 年間90件					
アウトカムとアウトプット の関連	女性医師の勤務環境の改善を図り、医師確保につなげる。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 4,545	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) 17 (千円) 3,013 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円) 3,013
		基金	国 (A)	(千円) 3,030		
			都道府県 (B)	(千円) 1,515		
			計 (A+B)	(千円) 4,545		
			その他 (C)	(千円)		
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 11 (医療分)】 医療勤務環境改善支援センター運営事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 3,704千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	県					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	病床の機能分化・連携を推進するため、医療勤務環境改善支援センターの運営により、それぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要 アウトカム指標： ・看護職員離職率 8.6% (H27年度) →8.1% (R2年度)					
事業の内容	医師・看護師等の医療従事者の離職防止・定着促進を図ることを目指し、PDCAサイクルを活用して勤務環境改善に向けた取組を行うための仕組みを活用して勤務環境改善に取り組む各医療機関に対して総合的・専門的な支援を行うために設置される「医療勤務環境改善支援センター」を運営する。					
アウトプット指標	・センターの支援により勤務環境改善計画を策定する医療機関 新規に取り組む医療機関 1病院					
アウトカムとアウトプットの 関連	勤務環境改善に取り組むことで、医療従事者の確保につなげる。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 3,704	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 2,469
		基金	国(A)	(千円) 2,469		
			都道府県 (B)	(千円) 1,235		民 (千円)
			計(A+B)	(千円) 3,704		うち受託事業等 (再掲)(注2)
			その他(C)	(千円)		(千円)
備考(注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業						
事業名	【No. 1 2 (医療分)】 小児救急医療体制整備事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 14,895千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体						
事業の実施主体	小児救急二次輪番病院						
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日						
背景にある医療・介護ニ ーズ	病床の機能分化・連携を推進するため、小児救急医療に係る体制整備により、それぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要 アウトカム指標： 小児人口10万人当たりの小児科及び小児外科の医師数 92.4人(H26年)→増加(R1年)						
事業の内容	休日・夜間に輪番制によって小児科医による小児救急医療体制を整備する事業に対し運営費を補助する。						
アウトプット指標	津軽圏域の輪番参加病院数：4病院(R1年度)						
アウトカムとアウトプットの 関連	輪番に参加する病院を支援し確保することで小児科医の負担を減少させ、小児科医の確保を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 14,895	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 5,509	
	基金	国(A)	(千円) 6,620		民	(千円) 1,111	
		都道府県 (B)	(千円) 3,310			うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)
		計(A+B)	(千円) 9,930			(千円)	
		その他(C)	(千円) 4,965			(千円)	
備考(注3)							

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業							
事業名	【No. 13 (医療分)】 小児救急電話相談事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 14,909 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体							
事業の実施主体	県 (ダイヤルサービス (株) 委託)							
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日							
背景にある医療・介護ニ ーズ	病床の機能分化・連携を推進するため、小児救急電話相談事業の実施により、それぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要							
	アウトカム指標： ・子どもの救急搬送件数 1,580件 (H26年度) →1,402件 (R1年度)							
事業の内容	保護者の不安解消と小児救急医療体制の補完を目的として小児救急医療電話相談 (#8000) を実施する。							
アウトプット指標	・一相談日あたりの相談件数 9.3人 (H25年度) →12.9人 (R1年度)							
アウトカムとアウトプットの 関連	夜間の急な子どもの病気等について、電話相談によってアドバイスをすることで、適正な救急車の利用を図る							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		(A+B+C)		14,909			1,299	
		基金	国 (A)			(千円)		
			都道府県 (B)			(千円)		(千円)
			計 (A+B)			(千円)		8,640
その他 (C)		(千円)		うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)			
						8,640		
備考 (注3)								

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業								
事業名	【No. 14 (医療分)】 病院内保育所運営費補助				【総事業費 (計画期間の総額)】 16,857 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体								
事業の実施主体	医療機関								
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日								
背景にある医療・介護ニ ーズ	病床の機能分化・連携を推進するため、病院内保育所の安定的な運営により、それぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要								
	アウトカム指標： ・看護職員離職率 8.6% (H27年度) →8.1% (R2年度)								
事業の内容	医療機関に勤務する職員のための保育施設を運営する事業に要する経費を補助する。								
アウトプット指標	病院内保育所の運営費を支援する病院数：1施設 (R1年度)								
アウトカムとアウトプットの 関連	・病院内保育所の設置により看護師等の勤務環境を改善し、離職率の低下を図る。 ・子育ての面から就業出来なかった看護師の再就業支援の一助とする。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)		
		(A+B+C)		16,857					
		基金	国 (A)				(千円)		(千円)
			都道府県 (B)				(千円)		3,746
			計 (A+B)				(千円)		
その他 (C)		(千円)							
			5,619						
			11,238						
備考 (注3)									

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 15 (医療分)】 ナースセンター体制強化事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 4,897千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	県 (青森県看護協会委託)					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>病床の機能分化・連携を推進するため、ナースセンターの運営によりそれぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要</p> <p>アウトカム指標： ナースセンター斡旋による就業者数 280人/年 (H28年度) → 増加 (R2年度) [青森県保健医療計画 (青森県看護師等サポートプログラム) で設定]</p>					
事業の内容	看護職員の復職支援を図るため、各地域でのハローワークと連携した活動や、令和29年10月より開始した看護職員の離職者届出制度に対応するため、ナースセンター業務の体制強化に要する経費に対して助成する。					
アウトプット指標	ハローワークと連携した復職相談件数 100件 (R1年度)					
アウトカムとアウトプットの 関連	離職した看護職員を潜在化させることのない体制を整備することで、就業する看護職員の増加を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 4,897	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)
	基金	国 (A)	(千円) 3,265		民	(千円) 3,265
		都道府県 (B)	(千円) 1,632			うち受託事業等 (再掲) (注2)
		計 (A+B)	(千円) 4,897			(千円) 3,265
		その他 (C)	(千円)			
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 16 (医療分)】 新人看護職員研修事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 26,836千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	新人看護職員研修を実施する病院					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>病床の機能分化・連携を推進するため、新人看護職員に対する研修の実施により、それぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要</p> <p>アウトカム指標： ・新人看護職員離職率 7.0% (H27年度) → 6.8% (R2年度) [青森県保健医療計画（青森県看護師等サポートプログラム）で設定]</p>					
事業の内容	医療の安全確保、看護職員の離職防止等のため、医療機関等が行う新人看護職員研修に要する経費を補助する。					
アウトプット指標	<p>・新人看護職員研修事業参加者職員数 事業実施施設の新人看護職員数 306人 (H27年度) → 336人 (R1年度) (過去3年平均：県内就業新人看護職員の70%)</p>					
アウトカムとアウトプットの 関連	新人看護職員に対する研修により、新人看護師の職場定着を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 26,836	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 6,134
		基金	国 (A)	(千円) 8,946		
			都道府県 (B)	(千円) 4,472	民	(千円) 2,812
			計 (A+B)	(千円) 13,418		うち受託事業等 (再掲) (注2)
			その他 (C)	(千円) 13,418		(千円)
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 17 (医療分)】 看護職員資質向上推進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 4,189千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	県 (青森県看護協会委託)					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	病床の機能分化・連携を推進するため、それぞれの医療機能を担う医療 従事者の確保が必要 アウトカム指標： ・養成学校卒業生の県内就業率 55.8% (H27年度) →増加 (R2年度) [青森県保健医療計画 (青森県看護師等サポートプログラム) で設定]					
事業の内容	・医療機関における実習指導者を対象として、保健師助産師看護師実 習指導者講習会 (特定分野を含む) を開催し、効果的な実習指導等が できるように必要な知識・技術を習得させる。 ・青森県看護師等サポートプログラムの効果検証・進捗管理や看護師 等需給見通し等に係る「看護師等確保推進会議」を開催する。					
アウトプット指標	・保健師助産師看護師実習指導者講習会受講修了者数 32人/年維持 (受講定員40人の8割)					
アウトカムとアウトプット の関連	離職した看護職員を潜在化させることのない体制を整備することで、 就業する看護職員の増加を図る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 4,189	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) 517 (千円) 2,276 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円) 2,276
		基金	国 (A)	(千円) 2,793		
			都道府県 (B)	(千円) 1,396		
			計 (A+ B)	(千円) 4,189		
			その他 (C)	(千円)		
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 18 (医療分)】 看護師等養成所運営費補助				【総事業費 (計画期間の総額)】 100,085千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	看護師等養成所					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>病床の機能分化・連携を推進するため、看護師等養成所の安定的な運営により、それぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要</p> <p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> 養成学校卒業生の県内就業率 55.8% (H27年度) →増加 (R2年度) [青森県保健医療計画 (青森県看護師等サポートプログラム) で設定] 看護教員養成講習会未受講者 16人 (H28年度) →減少 (R2年度) [青森県保健医療計画 (青森県看護師サポートプログラム) で設定] 					
事業の内容	<p>看護師等確保対策の一環として、看護師等養成所の教育内容の向上及び運営の適正化を図ることを目的に、専任教員の人件費、生徒経費等運営に必要な経費について補助する。</p> <p>また、看護師等の県内修業促進のため、卒業生の県内就業率に応じた支援を行う。</p>					
アウトプット指標	・支援する看護師等養成所の数：8校10課程 (R1年度)					
アウトカムとアウトプットの 関連	・看護師等養成所の教育内容の向上、運営の適正化を図り、学生により良い教育が提供されることにより、看護師等養成の促進、県内定着を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 100,085	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) 7,719 (千円) 59,004 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円)
		基金	国 (A)	(千円) 66,723		
			都道府県 (B)	(千円) 33,362		
			計 (A+B)	(千円) 100,085		
			その他 (C)	(千円)		
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 19 (医療分)】 看護職員キャリアアップ推進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 7,448千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	病床の機能分化・連携を推進するため、看護職員のキャリアアップを支援することでそれぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要					
事業の実施主体	看護師等養成所 病院					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	病床の機能分化・連携を推進するため、それぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要 アウトカム指標： ・認定看護師数 179人 (H28年度) →240人 (R2年度) ・看護教員養成講習会未受講者 16人 (H28年度) →減少 (R2年度) [青森県保健医療計画 (青森県看護師等サポートプログラム) で設定]					
事業の内容	・看護師等養成所が看護教員養成講習会へ受講させた際に要する経費及び病院が看護師を認定看護師等教育課程へ受講させた際に要する経費の一部を補助する。					
アウトプット指標	支援する養成所・病院数 ・看護教員養成講習会へ受講させた養成所数：2校 (R1年度) ・認定看護師等教育課程へ受講させた病院数：8病院 (R1年度)					
アウトカムとアウトプットの関連	看護師のキャリア支援を図ることで、提供する医療の質の向上、学生によりよい教育を提供することができる。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 7,448	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 未定
		基金	国 (A)	(千円) 2,699		
			都道府県 (B)	(千円) 1,349		(千円) 未定
			計 (A+B)	(千円) 4,048		うち受託事業等 (再掲) (注2)
			その他 (C)	(千円) 3,400		(千円)
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 20 (医療分)】 看護師勤務環境改善施設整備事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 252,000 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	医療機関					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	病床の機能分化・連携を推進するため、それぞれの医療機能を担う医療従事者の確保が必要					
	アウトカム指標： ・看護職員離職率 8.6% (H28年度) →8.1% (R2年度)					
事業の内容	看護職員の勤務環境改善を図るため、ナースステーションや仮眠室の整備を支援					
アウトプット指標	整備医療機関数：3か所					
アウトカムとアウトプットの 関連	看護職員の勤務環境を改善し、離職率の低下を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 252,000	基金充 当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) 未定 (千円) 未定 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円)
		基金	国 (A)	(千円) 56,000		
			都道府県 (B)	(千円) 28,000		
			計 (A+B)	(千円) 84,000		
			その他 (C)	(千円) 168,000		
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No. 21 (医療分)】 糖尿病と歯周病を切り口とした医科・歯科連携事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 2,017千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全体					
事業の実施主体	県 (県医師会委託)					
事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>青森県は糖尿病による死亡率が全国ワースト2位(平成29年)で、県の平均寿命にも影響を与えていることから、糖尿病対策は県の喫緊の課題である。糖尿病対策のひとつとして、医師、歯科医師等が糖尿病と歯周病に関する専門知識を学び、医科・歯科連携の体制を構築し、両科からの糖尿病対策を実施していくことが必要である。</p> <p>アウトカム指標：日本糖尿病登録歯科医の増加 47名(H30)⇒50名(R1)</p>					
事業の内容	糖尿病に関する医科歯科連携の体制を構築するため、医科・歯科連携検討会を開催するとともに、その検討内容及び糖尿病と歯周病に関する専門知識を医師、歯科医師に伝えるための研修会を実施する。					
アウトプット指標	医科歯科合同研修会を受講した医師、歯科医師等の人数：延べ300人(H30)					
アウトカムとアウトプットの関連	医師及び歯科医師が糖尿病と歯周病について学ぶことで、糖尿病と歯周病の関係性を理解し、治療や連携に取り組む医師、歯科医師が増加する。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 2,017	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 289
		基金	国(A)	(千円) 1,344		
			都道府県 (B)	(千円) 673	民	(千円) 1,055
			計(A+B)	(千円) 2,017		うち受託事業等 (再掲)(注2)
			その他(C)	(千円)		(千円) 1,055
備考(注3)						

3. 計画に基づき実施する事業

(1) 事業の内容等

(事業No. 1, 2)

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業					
事業名	青森県地域密着型サービス等提供施設整備費補助 青森県施設開設準備経費等支援事業費補助				【総事業費】 2,079,353千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	青森圏域、津軽圏域、八戸圏域、西北圏域、上十三圏域、下北圏域					
事業の実施主体	青森県				③事業費 : 2,362,778千円 H29執行算 : 593千円 H29執行残 : 282,832千円 H31新規申請: 2,079,353千円	
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築を図る。					
	アウトカム指標：地域密着型サービス施設等の定員総数 8,232人					
事業の内容	<p>①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。</p> <p>地域密着型特別養護老人ホーム 145人（5か所） 小規模多機能型居宅介護事業所 47人/月分（6か所） 看護小規模多機能型居宅介護事業所 72床（8か所） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 3か所 認知症高齢者グループホーム 75人（6か所） 施設内保育施設 1か所 介護医療院 302人（4か所）</p> <p>②介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対して支援を行う。</p>					
アウトプット指標	<p>平成30年3月に策定した「あおり高齢者すこやか自立プラン2018（第8期老人福祉計画・第7期青森県介護保険事業支援計画）」（計画期間：平成30年度～平成32年度）に基づき、地域密着型サービス施設の整備を支援することで、本プランの基本理念である「高齢者が生きがいを持ち、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる青森県」の実現を目指す。</p> <p>・地域密着型特別養護老人ホーム 1,191床（46か所）→1,336床（51か所） ・小規模多機能型居宅介護事業所 1,251人/月分（56か所）→1,298人/月分（62か所） ・認知症高齢者グループホーム 5,199床（335カ所）→5,274床（341カ所） ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 51人/月分（6か所）→123人/月分（14か所） ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 4か所→7か所 ・介護事業所内保育施設 6か所→7か所 ・介護医療院 30床（2か所）→332床（6か所）</p>					
アウトカムとアウトプットの関連	施設整備による利用者定員の増加を図り、地域で生活できる体制を整備する。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費	2,079,353千円	基金充当額（国費）における公民の別（注1）	公	881,668千円
	基金	国	1,386,235千円		民	504,567千円
		県	693,118千円			うち受託事業等（再掲）
	その他	千円	千円			
備考						

(事業No. 1)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 参入促進 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業					
事業名	介護職の魅力発信事業				【総事業費】 3,138千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域					
事業の実施主体	公益社団法人青森県老人福祉協会					
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	介護職に対するイメージは、依然としてマイナスイメージが強いことから、介護職の魅力や大切さを広く県民へPRし、理解促進を図る必要がある。					
	アウトカム指標：介護職に対するイメージアップ					
事業の内容	<p>1 あおもり介護の魅力発信フェスティバルの開催 介護の魅力を発信するため、ショッピングモールの催事場等を活用したフェスティバルを開催する。</p> <p>2 イベントの活用による普及啓発 テレビ局が主催する青森朝日放送祭りでのブースを借り、介護等の広報及び相談会を実施する。</p>					
アウトプット指標	来場者数 800人					
アウトカムとアウトプットの関連	介護職へのイメージアップを図り、介護を目指す就労者への理解と新規参入を促進する。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費		3,138千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等(再掲)
		基金	国	2,093千円		
			県	1,045千円		
		その他		千円		
備考						

(事業No. 2)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 参入促進 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業					
事業名	介護技術コンテスト開催事業				【総事業費】 3,562千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域					
事業の実施主体	社会福祉法人青森県社会福祉協議会					
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	県民の介護職に対するイメージアップや介護職員のモチベーション向上等のための機会を創出し、介護に対する理解向上及び介護人材の定着につなげる必要がある。					
	アウトカム指標：介護に対する理解向上や介護職員の意欲向上などについて好意的回答70%以上（参加者に対するアンケート調査）					
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 介護技術コンテスト検討・審査委員会の設置 外部の専門識者等を構成員とする検討・審査委員会を設置し、競技内容や審査方法・手順等を検討する。 2 介護技術コンテストの周知 コンテストの参加者募集及びイベントの開催について関係機関等に周知し、来場者を募る。（チラシ、ポスター、新聞広告等） 3 介護技術コンテストの開催 ・コンテスト対象者：介護職員 ・競技内容：移動介助、排泄介助、食事介助等を想定 ・コンテストにおいては、実技及び質疑応答を行い、内容を審査する。 ・各部門優勝者を表彰する。 4 参加者アンケートの実施 					
アウトプット指標	コンテスト来場者100名 出場者20名					
アウトカムとアウトプットの関連	コンテスト開催（＝魅せる介護）により、来場者（県民）の介護職に対する理解向上を図るとともに、競技やそこで得られる評価を通して出場者（介護職員）の介護技術やモチベーション向上を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費		3,562千円		公 民 基金充当額（国費）における公民の別（注1） うち受託事業等（再掲）
		基金	国	2,375千円		
			県	1,187千円		
		その他		千円		
備考						

(事業No. 3)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業 (大項目) 参入促進 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業					
事業名	福祉・介護人材参入促進事業			【総事業費】 9,060千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域	総事業費 21,408千円	H27国補正 : 8,778千円 H29執行残 : 3,570千円 H31新規申請 : 9,060千円			
事業の実施主体	青森県、養成施設、職能団体					
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	介護職に対するマイナスイメージが依然として強いことから、介護職の魅力や大切さを広く県民へPRし、理解促進を図る。					
	アウトカム指標：介護分野への新たな進学者・就労者の確保 (セミナー等参加者のうち新たな進学者・就労者数の前年度比増)					
事業の内容	<p>介護職に対するイメージアップを図るため、各種研修会を実施する。</p> <p>(1) 介護の仕事の大切さ・魅力を伝えるためのセミナー、研修等の実施 (2) 職場体験、学校訪問、出前講座等の実施 (3) 高校・養成施設・事業者の意見交換会の開催 (4) 福祉人材確保支援セミナー・福祉人材確保研究会の開催 (5) 初任者研修受講料の補助</p>					
アウトプット指標	<p>1 セミナー等受講者数：500名 2 職場体験実施者数：120名 3 出前講座実施校数：15校 4 初任者研修受講料補助の実施：50名</p>			総事業費21,408千円による アウトプット		
アウトカムとアウトプットの関連	公開講座等の実施により、介護分野への進学・就業者の参入促進を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費	9,060千円	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	
	基金	国	6,040千円		民	6,040千円
		県	3,020千円			
	その他	千円	1,566千円		うち受託事業等(再掲)	
備考						

(事業No. 4)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 参入促進 (小項目) 多様な人材層に応じたマッチング機能強化事業						
事業名	福祉・介護人材マッチング機能強化事業				【総事業費】 9,429千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県 (社会福祉法人青森県社会福祉協議会)						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	多様な人材の参入を促進するため、求人条件と求職条件の調整を図り、きめ細やかなマッチングを行う必要がある。						
	アウトカム指標：福祉人材センター経由の入職者数の増加 (前年度比増)						
事業の内容	施設・事業所における詳細な求人ニーズの把握、求職者の適性の確認及び的確な求人情報の提供、就業後の適切なフォローアップ等を、青森県福祉人材センターに配置した2名のキャリア支援専門員が一体的に実施する。						
アウトプット指標	訪問事業所数：150事業所、マッチング件数：70名						
アウトカムとアウトプットの関連	キャリア支援専門員の配置、事業所訪問によるきめ細やかなマッチングにより、入職者数の増加を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		9,429千円	基金充当額 (国費) における公民の別 (注1)	公	6,286千円 うち受託事業等 (再掲)
		基金	国	6,286千円			
	県		3,143千円				
	その他	千円	6,286千円				
備考							

(事業No. 5)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 参入促進 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業						
事業名	介護体験型理解促進事業				【総事業費】 5,817千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県 (社会福祉法人青森県社会福祉協議会)						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者に接する機会の少ない小・中・高校生等に対し、介護に対する理解を促進させ、福祉の心の醸成や介護職へのイメージアップを図る必要がある。						
	アウトカム指標：介護に対する理解の促進とイメージアップ						
事業の内容	<p>1 介護教室等の開催 生徒やその保護者などを対象に、体験型による介護や介護職について学ぶ機会を通し、介護に対する機運を醸成し、将来の仕事として選択してもらえるようイメージアップを図っていくための介護教室（高齢者疑似体験や車椅子体験など）を開催する。</p> <p>2 講座等の開催 広域的な団体等に対し、介護や介護職への理解促進を目的とした講座等を開催する。</p>						
アウトプット指標	開催回数：90回、参加者数：900名						
アウトカムとアウトプットの関連	高齢者や介護に対する理解を促進させ、若い世代から介護に関する機運の醸成と介護職に対するイメージアップを図りながら、新たな人材参入を推進する。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		5,817千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	千円
		基金	国	3,878千円		民	3,878千円
			県	1,939千円			うち受託事業等(再掲)
		その他		千円			3,878千円
備考							

(事業No. 6)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業 (大項目) 基盤整備 (小項目) 人材育成等に取り組む事業所の認証評価制度実施事業						
事業名	介護人材育成認証評価制度事業				【総事業費】 8,577千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域	総事業費 18,577千円		〔 H29執行残 : 10,000千円 H31新規申請 : 8,577千円 〕			
事業の実施主体	青森県 (公益社団法人青森県老人福祉協会外)						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	将来にわたる安定的な介護人材の確保、職員の処遇改善による離職防止、サービスの質の向上に向け、介護サービス事業所の見える化を推進する。						
	アウトカム指標：介護職員の人材確保と質の高いサービスの提供						
事業の内容	<p>職員の処遇改善、人材育成、サービスの質の向上に積極的に取り組む事業所を県が認証する認証評価制度の運営</p> <p>1 制度の運営 (1) 認証評価制度推進委員会の運営 (2) 認証審査・認証の付与 (3) 認証審査調査員の設置・研修実施 (4) 広報等</p> <p>2 事業者支援 (1) 認証取得に向けたセミナーの開催 (2) 個別相談会</p>						
アウトプット指標	<p>1 認証評価制度参加を宣言する事業者数 180事業者 (累計)</p> <p>2 認証評価基準による評価を受けた事業者数 45事業者 (累計)</p>						
アウトカムとアウトプットの関連	各事業所等の情報の見える化により、安定的な人材確保と質の高いサービスの提供を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		8,577千円	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	558千円
		基金	国	5,718千円		民	5,160千円
			県	2,859千円			うち受託事業等 (再掲)
		その他		千円		5,160千円	
備考							

(事業No. 7)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業							
事業名	介護ロボット導入支援事業				【総事業費】 5,512千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域							
事業の実施主体	社会福祉法人青森県社会福祉協議会							
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	介護職員の定着・確保及び高齢者の自立支援の観点から、介護職員の負担軽減を図るなど、働きやすい職場環境の整備を支援する必要がある。							
	アウトカム指標： 介護職員の負担軽減や定着促進などについて好意的回答60%以上 (介護ロボット導入施設に対するアンケート等調査)							
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 介護ロボット利活用についての検討 県社会福祉協議会に事務局を設置し、介護関係者や有識者の助言等を得ながら、必要な介護ロボットの検証、安全性確認、補助対象ロボットの選定など、普及・促進に向けた検討を行う。 介護事業所における介護ロボット導入経費補助 介護ロボット導入経費の一部について補助（1機器当たり30万円）を行う。また、導入効果検証についてフォローアップを行う。 介護ロボットの普及・啓発 介護ロボット導入事例に基づき、関係者向け報告・研修会等の開催などの方法により県内への普及・啓発を図る。 							
アウトプット指標	介護ロボット導入施設：5施設 研修参加数：100名							
アウトカムとアウトプットの関連	介護ロボットに係る理解を深め、その適切な導入事例を積み重ねることにより、県内施設における導入しやすい環境づくりが醸成されるとともに、介護職員の負担軽減や定着につながる。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		5,512千円		基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	3,675千円 うち受託事業等(再掲) 千円
	基金	国	3,675千円		民			
		県	1,837千円					
	その他	千円						
備考								

(事業No. 8)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策・普及促進事業						
事業名	新介護職員応援イベント開催事業				【総事業費】 2,637千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県 (公益社団法人青森県老人福祉協会)						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	入職後3年未満の離職率は高いことから、介護職の大切さを相互に認識し、早期離職防止を図る。						
	アウトカム指標：3年未満の離職率の減少 (介護労働安定センター調査：前年度比の減)						
事業の内容	<p>1 新介護職員応援イベントの開催 新介護職員を対象とした交流会 (新介護職員応援イベント) を開催し、モチベーションの向上を図り、早期離職を防止する。併せて30年度に本イベントに参加した介護職員の定着状況を調査する。</p> <p>2 テレビ番組・映像の制作 認証事業所の取組や介護の現場で頑張っている若手職員等を紹介するテレビ番組・映像を制作し、広く県民に周知することで、介護業界の雇用管理改善を促進し人材の定着を図るとともに、介護業界のイメージアップを図る。</p>						
アウトプット指標	1 新介護職員応援イベントに参加する新介護職員：1回、90人						
アウトカムとアウトプットの関連	イベント等を通じ、若手介護職員のモチベーションを喚起し、3年未満の離職率の減少を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		2,637千円	基金充当額 (国費) における公民の別 (注1)	公	千円
		基金	国	1,758千円		民	1,758千円
	県		879千円	うち受託事業等 (再掲)			
	その他	千円	1,758千円				
備考							

(事業No. 9)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (小項目) 新人職員に対するエルダー、メンター制度等導入支援事業					
事業名	新採用介護職員人材育成・定着支援事業				【総事業費】 736千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域					
事業の実施主体	公益社団法人青森県老人福祉協会					
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	介護分野における新人職員の人材育成を担う人材計画等の推進により、質の向上を図る。					
	アウトカム指標：新人職員の人材育成と質の向上（アンケート調査）					
事業の内容	離職率が高い新人職員の定着に向けて、先輩職員等が新人職員の相談・支援を行う制度などを整備しようとする事業者に対し、当該制度構築のための研修を実施する。					
アウトプット指標	開催回数：2回、研修参加者数：150名					
アウトカムとアウトプットの関連	研修受講後の事業所において、より手厚い人材育成の構築により、離職者の防止や職員の質の向上を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費		736千円	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等(再掲) 千円
		基金	国	490千円		
			県	246千円		
		その他		千円		
備考						

(事業No. 10)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (小項目) 介護サービス事業者等の職員に対する育児支援事業						
事業名	福祉・介護人材定着促進事業 (育児支援)				【総事業費】 1,213千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県 (社会福祉法人青森県社会福祉協議会)						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	子育て中の介護職員の育児負担を軽減し、離職等の抑制を推進する必要がある。						
	アウトカム指標：育児支援サービス等を利用する事業所の増						
事業の内容	<p>認証事業所を対象にし、夜勤等の際に育児支援サービス（ファミリーサポートセンター等）を利用する際の利用者負担について、事業所が負担した場合、その費用の一部を補助する。</p> <p>また、介護職員等の子どもが、病気等により保育園等に登園させることが困難なときのため、介護サービス事業所内の保育施設等に看護師等をさらに配置するための経費の一部を補助する。</p>						
アウトプット指標	育児支援サービス利用者数：10名						
アウトカムとアウトプットの関連	子育て中の介護職員の育児負担を軽減するため、その支援を行う事業所が増えることにより、子育てを理由に離職する職員を抑制する。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		1,213千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等(再掲)	
		基金	国	808千円			808千円
			県	405千円			
		その他	千円	808千円			
備考							

(事業No. 11)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策・普及促進事業						
事業名	あおもりノーリフティングケア推進事業				【総事業費】 10,333千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	介護職員が働く上での悩み、不安、不満として「腰痛・体力に不安がある」が上位に上げられ、本県社会福祉施設における労働災害の約1/4を腰痛が占める。このため、介護職員の身体的負担の軽減、特に腰痛問題の解消に向けた取組が必要である。						
	アウトカム指標：ノーリフティングケアを実践する事業所数の増加						
事業の内容	<p>介護する側・される側の双方に優しく、安全で安心な「持ち上げない、抱え上げない、引きずらないケア」であるノーリフティングケアを推進することで、介護職員の身体的・精神的負担を軽減し、働きやすい職場環境を整備する。</p> <p>(1)あおもりノーリフティングケア推進研究会の設置 (2)指導者養成（中央研修への派遣） (3)意識改革と体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者向け研修 ・事業所リーダー職員向け研修 ・先進モデル施設による成功事例の創出 						
アウトプット指標	<p>1. 先進モデル施設による成功事例の創出：3施設 2. 指導者養成（中央研修への派遣）：3人 3. 管理者向け研修：1回、事業所リーダー職員向け研修：1回実施</p>						
アウトカムとアウトプットの関連	先進モデル施設を創出してエビデンスに基づく情報発信を行い、本県のノーリフティングケアを推進する指導者を養成し、必要な研修を実施することで、県内にノーリフティングケアを普及させていくものである。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		10,333千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	124千円
	基金	国	6,888千円			民	6,764千円
		県	3,445千円				うち受託事業等(再掲)
	その他	千円		6,764千円			
備考							

(事業No. 12)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (小項目) 介護事業所に対する業務改善支援事業						
事業名	介護事業所に対する業務改善支援モデル事業				【総事業費】 926千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県及び県内介護事業所						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	介護事業所における人材不足などの課題を解決のため、業務改善の取組が必要となっている。						
	アウトカム指標：コンサルティングなどによる業務改善による介護従事者の負担軽減や省力化（業務改善前後でアンケート実施）。						
事業の内容	厚生労働省が示す予定の生産性向上ガイドラインに基づき業務改善に取り組む介護事業所に対して、第三者がその取組を支援するための費用（コンサルティング費用など）の一部を補助する。						
アウトプット指標	青森・弘前・八戸圏域から各1事業所の計3介護事業所						
アウトカムとアウトプットの関連	介護事業所が業務改善の取組をすることにより、採用職員の増加や離職防止などの人材確保対策を図られる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		926千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	17千円
		基金	国	617千円		民	600千円 うち受託事業等(再掲)
	県		309千円				
	その他	千円					
備考							

(事業No. 13)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (小項目) ICT導入支援事業						
事業名	介護事業所ICT導入支援モデル事業				【総事業費】 4,045千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県及び介護事業所						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	介護事業所における人材不足などの課題を解決のため、業務改善の取組が必要となっている。						
	アウトカム指標：ICTツールの導入による介護従事者の負担軽減や省力化（導入前後でアンケートを実施）。						
事業の内容	ICTを活用して介護記録から請求業務までが一気通貫で行うことができるよう、介護ソフト及びタブレット端末等に係る購入費用の一部を補助する。また、県内の介護事業所へのICTの普及を促進するため、補助先の介護事業所をモデル事業所とし、事業終了後にICT導入の成果をとりまとめ、セミナーなどを通して広く周知を図ることとしたい。						
アウトプット指標	青森・弘前・八戸圏域2事業所、他圏域1事業所の計9介護事業所						
アウトカムとアウトプットの関連	介護事業所が業務改善の取組をすることにより、採用職員の増加や離職防止などの人材確保対策を図られる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		4,045千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	81千円
		基金	国	2,696千円		民	2,615千円
			県	1,349千円			うち受託事業等(再掲)
		その他		千円			815千円
備考							

(事業No. 14)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 潜在介護福祉士の再就職支援						
事業名	潜在的有資格者等再就業促進事業				【総事業費】 2,563千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	本県の介護福祉士登録者のうち介護業務従事者は約半数にとどまり、即戦力となることが期待される潜在的有資格者の再就業の促進が必要である。						
	アウトカム指標：再就業する潜在的有資格者の増加（前年度比増）						
事業の内容	潜在的有資格者を対象とし、介護の知識や技術等を再確認し、円滑な再就業を可能とするための研修や職場体験等を実施する。 また、離職介護人材の届出制度を活用し、福祉人材センターへの求職者登録や研修等の情報提供等の働きかけを行う。						
アウトプット指標	職場体験・研修参加者数：80名						
アウトカムとアウトプットの関連	職場体験・研修の実施、届出制度を活用した働きかけの強化等により、再就業する潜在的有資格者が増加する。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		2,563千円		基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等(再掲)
		基金	国	1,708千円			
	県		855千円				
	その他	千円		1,708千円			
備考							

(事業No. 15)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業						
事業名	福祉・介護人材キャリアパス支援事業				【総事業費】 3,284千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県、養成施設、職能団体						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	多様な人材層に対し、現場のニーズに応じた、スキルアップを図るための支援を行う必要がある。						
	アウトカム指標：従事者の資質の向上						
事業の内容	福祉・介護従事者等を対象とした資格取得、スキルアップ等を促進するための研修を実施する。						
アウトプット指標	研修回数：7回、研修参加者数：500名						
アウトカムとアウトプットの関連	研修参加により、従事者の資質とモチベーションの向上が図られる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		3,284千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等(再掲)	
		基金	国	2,189千円			2,189千円
			県	1,095千円			
		その他		千円			981千円
備考							

(事業No. 16)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業					
事業名	アセッサー講習受講支援事業				【総事業費】 1,295千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域					
事業の実施主体	介護サービス事業者					
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	将来に渡る人材育成を推進するため、アセッサー講習の受講による事業所内での活用を促進させる。					
	アウトカム指標：事業所内での人材育成の促進					
事業の内容	介護キャリア段位制度におけるアセッサー講習を受講させるために事業者が負担した受講料に対する支援を行う。					
アウトプット指標	アセッサー講習受講者数：40名					
アウトカムとアウトプットの関連	アセッサー講習を修了し、評価者となり得る者を養成することにより、キャリア段位制度を導入する事業所の増につながり、介護人材の育成が促進される。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費		1,295千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等(再掲) 千円
		基金	国	863千円		
			県	432千円		
		その他		千円		
備考						

(事業No. 17)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業					
事業名	チームワーク強化支援事業				【総事業費】 1,284千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域					
事業の実施主体	公益社団法人青森県老人福祉協会					
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	介護職員の主な離職の理由の1つに人間関係があげられており、介護人材不足の大きな要因となっている。これにより、介護現場で求められるチームケアが機能していないケースが多いことから、人間関係の改善を支援する取り組みが必要である。					
	アウトカム指標： 3年未満の離職率（人間関係の理由による離職）の減少（介護労働安定センター調査：前年度比の減）					
事業の内容	<p>1 スーパーバイザー養成研修の実施 スーパーバイザーの増員のため、チャレンジプログラムへの理解やファシリテーター能力の修得するための研修を実施する。</p> <p>2 スーパーバイザーフォローアップ研修の実施 前年度に養成されたスーパーバイザーを対象に、継続的な質の向上を図る研修を実施する。</p> <p>3 スーパーバイザーによる出前講座の実施 組織強化を支援するスーパーバイザーが県内5地区へ出向き、チャレンジプログラム（施設内研修マニュアル等）を実施する。 また、自らが受講したスーパーバイザー養成研修の内容を施設職員等に対し講義を行う。</p>					
アウトプット指標	スーパーバイザー養成数：60名 スーパーバイザーフォローアップ研修受講者数：10名 出前講座：5地区（150名）					
アウトカムとアウトプットの関連	出張講座ができるスーパーバイザーを養成し、派遣することで、介護人材の定着促進を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費		1,284千円		基金充当額（国費）における公民の別（注1）
	基金	国	857千円		公	
		県	427千円			
	その他	千円		うち受託事業等（再掲）	857千円	
備考						

(事業No. 18)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業						
事業名	階層別研修事業				【総事業費】 3,741千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	公益社団法人青森県老人福祉協会						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	離職率の高い3年未満の介護職員の離職防止や中堅職員、管理者などの段階別の人材育成を支援する。						
	アウトカム指標：3年未満の離職率の減少（介護労働安定センター調査：前年度比の減）						
事業の内容	<p>1 初任者研修（定員40名） 経験年数3年未満の介護職員を対象に、2コースの研修をワークショップ形式で行う</p> <p>2 中堅職員研修（定員70名） コミュニケーション能力や職業倫理、問題解決能力などの組織のリーダーとなりうる中堅職員の養成研修を行う。</p> <p>3 管理者研修（定員100名） 事業所における管理者又は管理者になる見込のある者を対象に、マネジメント・監理・統率能力の強化、資質の向上のための研修を行う。</p>						
アウトプット指標	研修回数：3回、研修参加者数 210名						
アウトカムとアウトプットの関連	研修受講者が介護職への誇りややりがいを持ち続けることができるよう、同じ年数の経験を持つ職員同士による質の向上を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		3,741千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	千円
	基金	国	2,495千円			民	2,495千円
		県	1,246千円				
	その他			千円		うち受託事業等（再掲）	
備考							

(事業No. 19)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業						
事業名	介護支援専門員資質向上事業				【総事業費】 314千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	介護サービスの適切な提供に資するよう、介護支援専門員に対する研修実施・受講勧奨等を推進する必要がある。						
	アウトカム指標：介護支援専門員の資質の向上						
事業の内容	1 介護支援専門員に対して更新研修受講の案内を発送する。 2 介護支援専門員実務研修実習受入協力事業所への説明会を開催する。						
アウトプット指標	1 更新研修受講対象介護支援専門員（約1,200名）の70%の受講 2 全受入事業所（約210ヶ所）の受講						
アウトカムとアウトプットの関連	介護支援専門員が必要な研修を受講することにより、資質の向上が図られ、利用者への適切な介護サービスの提供につながる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		314千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	210千円
	基金	国		210千円		民	千円
		県		104千円			うち受託事業等(再掲)
	その他			千円		千円	
備考							

(事業No. 20)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業					
事業名	介護支援専門員地域同行型研修事業				【総事業費】 2,504千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域					
事業の実施主体	公益社団法人青森県介護支援専門員協会					
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	小規模な事業所においては、介護支援専門員の人材育成が困難であり、他の事業所の経験豊富な主任介護支援専門員との同行型実地指導は、スキルアップだけでなく、より適正なケアプランの作成ができることとなり、地域でのネットワークの構築が促進される。					
	アウトカム指標：介護支援専門員の資質の向上					
事業の内容	<p>地域の経験豊かな主任介護支援専門員が小規模事業所の初任者介護支援専門員や経験の浅い介護支援専門員の一連の業務に同行し、実地の指導・支援を行うとともに、課題報告を分析し、全県の課題として関係者間の共有を図る。</p> <p>さらに、医療的な介入の必要な事例について、必要に応じた医療系職員（理学療法士、作業療法士、栄養士、訪問看護師等）にも同行の協力を求め、在宅医療介護の強化を推進する。</p>					
アウトプット指標	研修参加者数：30名					
アウトカムとアウトプットの関連	小規模事業所や経験の浅い介護支援専門員の資質の向上と、各地域におけるネットワークの拡大と地域全体のケアプランの質の向上が図られる。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費		2,504千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民 1,670千円 うち受託事業等(再掲) 千円
		基金	国	1,670千円		
			県	834千円		
		その他		千円		
備考						

(事業No. 21)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業					
事業名	介護予防事業支援のためのリハビリテーション専門職養成事業				【総事業費】 971千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域					
事業の実施主体	一般社団法人青森県理学療法士会、一般社団法人青森県作業療法士会、一般社団法人青森県言語聴覚士会					
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	市町村の介護予防事業や地域ケア会議等へのリハ職参画を促進している状況において、リハ専門職の関連制度理解や資質の向上が求められているもの。					
	アウトカム指標：従事者の資質向上					
事業の内容	リハ専門職を対象として、介護予防事業（つどいの場づくり等）及び地域ケア個別会議に係る関連制度や導入の背景、効果的な関わり方、先進的な取組のノウハウ等の習得を目的とした研修会を開催する。					
アウトプット指標	研修回数：2回、研修参加者数：60名					
アウトカムとアウトプットの関連	各地域のリハ専門職の資質向上、制度理解が進むことにより、円滑な連携につながるもの。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費		971千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公
	基金	国	647千円	647千円		民
		県	324千円			
	その他	千円	647千円	うち受託事業等（再掲）		
備考						

(事業No. 22)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業						
事業名	認知症サポート医養成事業費				【総事業費】 1,977千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	認知症初期集中支援推進事業を実施するには、認知症サポート医の協力が不可欠であり、サポート医の増員及び活動の強化が急務である。						
	アウトカム指標：認知症初期集中支援事業に協力する医師の増加						
事業の内容	<p>1 認知症サポート医養成事業 県内全市町村に認知症サポート医が配置されるよう、資格取得研修に12名派遣する。</p> <p>2 認知症サポート医地域支援強化事業 認知症サポート医の地域連携機能強化を目的に、認知症疾患医療センター2か所に委託し、研修会を開催する。</p>						
アウトプット指標	認知症サポート医の数：累計90名（新規12名）						
アウトカムとアウトプットの関連	認知症サポート医の増加＝市町村事業に協力するサポート医の増						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		1,977千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	427千円
		基金	国	1,318千円		民	891千円
			県	659千円			うち受託事業等(再掲)
		その他		千円		891千円	
備考							

(事業No. 23)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業 (大項目) 資質の向上 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業						
事業名	認知症初期集中支援チーム員・認知症地域支援推進員育成事業				【総事業費】 3,697千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県、国立長寿医療研究センター						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	認知症総合支援事業の実施にあたり、市町村職員等が国や県が定める研修を受講する必要がある。						
	アウトカム指標：認知症初期集中支援チーム員・認知症地域支援推進員ネットワーク連絡会の参加人数の増加						
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チーム員研修 国立長寿医療研究センターが実施する研修へ、市町村職員等を40名派遣する。 認知症地域支援推進員研修 認知症介護研究・研修東京センターが実施する研修へ、市町村職員等を40名派遣する。 認知症初期集中支援チーム員・認知症地域支援推進員ネットワーク連絡会 認知症初期集中支援チーム員や認知症地域支援推進員を対象に、活動報告やグループワーク等により、ネットワーク化・資質向上を図る。 						
アウトプット指標	<ol style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チーム員研修受講者数：40名 認知症地域支援推進員研修受講者数：40名 認知症初期集中支援チーム員・認知症地域支援推進員ネットワーク連絡会の参加人数：1回、80名 						
アウトカムとアウトプットの関連	認知症総合支援事業の実施には当該研修の受講が必須である事から、目標値達成がアウトカムの達成となる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		3,697千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	384千円
		基金	国	2,464千円		民	2,080千円
			県	1,233千円			うち受託事業等(再掲)
		その他		千円			2,080千円
備考							

(事業No. 24)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業						
事業名	認知症対応力向上研修事業				【総事業費】 5,503千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県（青森県医師会、青森県歯科医師会、青森県薬剤師会、青森県看護協会）						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	一般病院や看護師、歯科医師、薬剤師等の認知症対応力を向上させ、地域での認知症患者への支援体制の強化を図る。						
	アウトカム指標：認知症対策の支援体制強化						
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> かかりつけ医認知症対応力向上研修 日頃高齢者が受診する医療機関の医師（かかりつけ医）を対象とした研修会を実施し、認知症対応力の向上を図る。 医療従事者向け認知症対応力向上研修 一般病院に勤務する医療従事者（医師等）を対象とした研修会を実施し、医療機関における認知症対応力の向上を図る。 歯科医師・薬剤師認知症対応力向上研修 歯科医師・薬剤師を対象に認知症対応力を向上を目的とした研修会を実施し、早期発見・早期対応体制の構築を図る。 看護職員認知症対応力向上研修 看護管理者向けの研修会を実施し、看護管理者が認知症への対応に必要な知識・技能を習得し、広く看護職員への認知症対応力向上を図る。 						
アウトプット指標	研修修了者数 ①60名 ②120名 ③歯科医師40名、薬剤師50名 ④30名						
アウトカムとアウトプットの関連	研修修了者が認知症への対応に必要な知識・技能を修得し、地域と連携することで、認知症対策の支援体制が強化される。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		5,503千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	172千円
		基金	国	3,668千円		民	3,496千円
			県	1,835千円			うち受託事業等(再掲)
		その他		千円			3,496千円
備考							

(事業No. 25)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業						
事業名	介護従事者向け認知症介護研修事業				【総事業費】 1,439千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県（公益社団法人青森県老人福祉協会、認知症介護研究・研修仙台センター）						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	介護サービス事業所の質の向上を推進する。						
	アウトカム指標：介護サービス事業所の質の向上						
事業の内容	<p>1 基礎研修 介護保険施設・事業所等の介護職員等を対象に、認知症介護に関する基礎的な研修を実施する。</p> <p>2 フォローアップ研修 認知症高齢者介護に係る最新の知識・技術及び指導法を研修させるため、高齢者介護の指導的立場にある者に対してフォローアップ研修を実施する。</p>						
アウトプット指標	研修修了者数 1：210名 2：1名						
アウトカムとアウトプットの関連	研修修了者が自身の介護サービス事業所において適切な認知症介護を提供することで、介護サービス事業所の質が向上する。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		1,439千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	39千円
		基金	国	959千円		民	920千円
			県	480千円			うち受託事業等(再掲)
		その他		千円			920千円
備考							

(事業No. 26)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業						
事業名	認知症ケアにおける多職種連携研修事業				【総事業費】 823千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	公益社団法人青森県老人福祉協会						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	認知症ケアは高齢化とともに対象者も増大しており、介護職員のスキルアップが求められている。また、医療機関との連携により、医療の知識の習得によるサービスの向上を推進させる。						
	アウトカム指標：介護サービス事業所の質の向上						
事業の内容	認知症に関わる施設職員（介護職、看護職、理学療法士、作業療法士、栄養士など）の多職種を対象に、医療機関からの講師等を迎え、医療的な知識の習得や対応力などを学ぶ研修会を実施する。						
アウトプット指標	開催回数：2回、研修参加者数：50名						
アウトカムとアウトプットの関連	認知症ケア職員の資質の向上と事業所における介護サービスの質の向上						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		823千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	千円
	基金	国	548千円			民	548千円
		県	275千円				うち受託事業等(再掲)
	その他			千円			千円
備考							

(事業No. 27)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 権利擁護人材育成事業						
事業名	市民後見推進事業				【総事業費】 5,964千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森市、弘前市、八戸市、むつ市						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加に伴い、成年後見制度の需要が高まると予想されているため、後見人の担い手となる市民後見人の育成や市民後見人に対する支援体制を構築する。						
	アウトカム指標：市民後見人の育成及び市民後見人の支援体制構築						
事業の内容	<p>市民後見に関する市町村事業経費の補助 市民後見推進事業を実施する市町村に対し、以下の事業内容に係る経費を補助する。</p> <p>(1) 市民後見人（権利擁護人材）の養成 (2) 市民後見人の支援体制構築及び運用 ①市民後見人フォローアップ研修 ②市民後見推進（支援）協議会の開催 (3) その他市民後見人の活動推進のために必要とする経費</p>						
アウトプット指標	(1) 市町村市民後見人養成研修修了者：3名 (2) フォローアップ研修受講者数：80名						
アウトカムとアウトプットの関連	地域住民が成年後見制度を理解し、市民後見人のなり手になることにより、市民後見人の支援体制が構築される。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		5,964千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	3,977千円
		基金	国	3,977千円		民	うち受託事業等(再掲)
	県		1,987千円				
	その他	千円	千円				
備考							

(事業No. 28)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業						
事業名	介護職員等医療的ケア研修事業				【総事業費】 4,179千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域	総事業費 19,179千円		H29執行残 : 15,000千円 H31新規申請 : 4,179千円			
事業の実施主体	青森県						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	喀痰吸引を実施できる介護職員の養成により、介護サービス事業所での医療的ケアができる体制整備を推進する。						
	アウトカム指標：喀痰吸引等のできる登録事業者数の増						
事業の内容	1 第1号研修及び第2号研修 (1) 喀痰吸引等研修(第1号及び第2号研修)の実施 (2) 実地研修時に受講生に対し実技指導及び評価を行う「指導看護師」を養成するための講習会の実施						
アウトプット指標	第1号：100名、第2号：300名				総事業費19,179千円によるアウトプット		
アウトカムとアウトプットの関連	医療的ケアを実施できる介護職員を養成し、介護サービス事業所等の指定増加を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		4,179千円	基金充当額(国費)における公民の別(注1)	公	320千円
		基金	国	2,786千円		民	2,466千円
			県	1,393千円			うち受託事業等(再掲)
		その他		千円		2,466千円	
備考							

(事業No. 29)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 喀痰吸引等研修の実施体制強化事業						
事業名	介護職員等に係る医療的ケア研修事業 (第3号研修)				【総事業費】 2,262千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	喀痰吸引等の医療的ケアが必要な利用児・者が増加しているが、障害福祉サービス事業所等では医療職(看護師等)の人材が不足しているため、介護職員による医療的ケアの実施が必要となっている。						
	アウトカム指標：医療的ケアを必要とする利用児・者の障害福祉サービス等の利用が増加し、安心してサービスを受けられる						
事業の内容	特定の者を対象とした基本及び実地による喀痰吸引等研修(第3号研修)の実施						
アウトプット指標	医療的ケアを実施する介護職員を、年間15人程度養成する						
アウトカムとアウトプットの関連	医療職を配置していない障害福祉サービス事業所等においても研修を受講した介護職員を配置することにより、医療的ケアの実施が可能となるため、医療的ケアを必要とする利用児・者の障害福祉サービス等の利用が増加する。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		2,262千円	基金充当額(国費)における公民の別(注1)	公	164千円
		基金	国	1,508千円		民	1,344千円
			県	754千円			うち受託事業等(再掲)
		その他		千円		1,344千円	
備考							

(事業No. 30)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業						
事業名	医療介護連携推進事業				【総事業費】 3,585千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	地域包括ケアシステムを構築するうえで、病院の入退院など、市町村の境界を越えて医療・介護サービスが利用される場合の市町村間の連携を進める必要がある。						
	アウトカム指標：退院時に入退院調整ルールにより退院前調整を済ませた方の割合						
事業の内容	<p>(1) 入退院調整ルールの運用 平成29年度までに策定したルールを運用し、入退院調整率等についてモニタリングを実施する。</p> <p>(2) 在宅医療・介護連携体制の構築を支援するための調整会議等による市町村支援 老人福祉圏域ごとに、入退院調整ルールの運用を含め、本事業の実施状況についての情報交換等を目的とした調整会議を開催する。市町村の具体的な取組事例や課題等について情報共有を図り、市町村の取組を促進するとともに、効果的な支援方法を検討する。</p> <p>(3) 介護事業者向けの研修会 終末期の決定プロセスに大きくかかわることが増える高齢者施設職員に対して研修会を実施することにより、利用者の希望を尊重した在宅医療の実現を目指す。</p>						
アウトプット指標	在宅医療・介護連携体制の構築を支援するための調整会議の開催数：6回						
アウトカムとアウトプットの関連	圏域で策定した退院調整ルールを運用することで、要介護状態等の患者が退院する際に調整もれとなる割合の減少が見込まれる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		3,585千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	2,390千円
		基金	国	2,390千円		民	うち受託事業等(再掲)
			県	1,195千円			
		その他		千円			
備考							

(事業No. 31)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業					
事業名	医療介護連携介護職員養成モデル事業				【総事業費】 3,313千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域					
事業の実施主体	公益社団法人青森県医師会					
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	医療の知識を併せ持つ介護職員の養成により、介護サービス事業所においてより質の高い適切なサービスを提供できる体制整備を推進する。					
	アウトカム指標：養成された職員による体制の強化					
事業の内容	<p>介護職員の医学知識習得による資質向上を目的として、介護施設に勤務する介護職員を対象に准看護師養成所（2年課程）への進学を促すため、学費等を支援する事業に要する経費を補助する。</p> <p>平成27年度 協議会設置、事業実施に係る検討等 平成28年度 入学金、授業料等の支援（6名） 協議会における事業報告・検討等 平成29年度 授業料等の支援（6名） 協議会における事業報告・検討等 平成30年度 入学金、授業料等の支援（7名） 協議会における事業報告・検討等 平成31年度 授業料等の支援（7名） 協議会における事業報告・検討等</p>					
アウトプット指標	介護職員の准看護師免許取得者7名					
アウトカムとアウトプットの関連	医療の知識を併せ持つ介護職員の養成により、介護サービス事業所においてより質の高い適切なサービスを提供できる体制整備を推進する。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費		3,313千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等(再掲)
		基金	国	2,208千円		
			県	1,105千円		
		その他		千円		
備考						

(事業No. 32)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業								
事業名	「青森県型地域共生社会」を構築する地域福祉人材育成研修会事業				【総事業費】 2,804千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域								
事業の実施主体	青森県								
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	医療・介護サービスの一体的な提供体制をはじめとした地域包括ケアシステムの構築に重要な要素を担う多職種連携について、円滑な推進に向けた技術的支援が必要とされている。								
	アウトカム指標：医療・介護等職員の多職種連携への理解促進								
事業の内容	市町村職員、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター職員等、医療・介護等関係職員を対象として、多職種連携によるチームケアの円滑な推進に資する研修を実施する（二次保健医療圏毎に、講演及びグループワークを開催）。								
アウトプット指標	研修回数：6回（2日間×6圏域）、研修参加者数：120名（20名×6圏域）								
アウトカムとアウトプットの関連	研修会の開催により、医療・介護等職員の多職種連携への理解促進を図り、円滑な連携体制の構築につなげる。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		2,804千円		基金充当額（国費）における公民の別（注1）	公	1,870千円	
	基金	国	1,870千円		民		千円		
		県	934千円				うち受託事業等（再掲）		
	その他	千円		千円					
備考									

(事業No. 33)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 介護施設、介護事業所への出前研修の支援事業						
事業名	介護施設における看護職員の資質向上推進事業				【総事業費】 1,188千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	公益社団法人 青森県看護協会						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	特別養護老人ホームの看護職員は入所者の健康的な生活を支えるために専門性を発揮することが求められる一方で、本県は少数の配置かつ、准看護師の割合が高いため、OJTが十分に機能していない。						
	アウトカム指標：特別養護老人ホームに勤務する看護師の資質向上						
事業の内容	<p>1 訪問研修 県内の医療機関に従事している認定看護師（感染症管理2名、皮膚・排泄ケア2名及び認知症看護2名の3組、計6名）それぞれの組が選定された3ヶ所の特養を訪問し、そこに勤務する看護職員を対象に研修を実施する。</p> <p>2 事業報告会 県内の特別養護老人ホームの職員を対象に、訪問研修の成果を報告する。</p>						
アウトプット指標	訪問研修受講施設数 3施設						
アウトカムとアウトプットの関連	訪問による研修会の開催により、効果的に看護師の資質の向上が図られる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		1,188千円		基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等(再掲) 793千円
		基金	国	793千円			
			県	395千円			
		その他		千円			
備考							

(事業No. 34)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 地域包括ケアシステム構築に資する人材育成・資質向上事業						
事業名	地域包括支援センター職員等研修事業				【総事業費】 911千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県（青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会）						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者等の課題に対応する地域の拠点として重要な役割を担っている地域包括支援センターの職員や介護予防支援従事者の資質の向上を図り、介護予防事業の適正な取組を推進する。						
	アウトカム指標：介護予防に携わる職員の資質の向上						
事業の内容	1 地域包括支援センター職員研修 地域包括支援センターの意義・役割など業務を行う上で必要な知識及び技能の向上を図るため研修会を実施する。 2 介護予防支援従事者研修 総合事業に関するケアマネジメントを含めた介護予防支援従事者の資質向上を図るための研修を実施する。						
アウトプット指標	受講者数 1：72名（各センター1名） 2：400名						
アウトカムとアウトプットの関連	研修会の開催により、新たに従事する職員等を含め資質の向上を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		911千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	
	基金	国	607千円			民	607千円
		県	304千円				うち受託事業等(再掲)
	その他	千円		607千円			
備考							

(事業No. 35)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 地域包括ケアシステム構築に資する人材育成・資質向上事業						
事業名	生活支援サービス拡充深化事業				【総事業費】 2,951千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	青森県 (社会福祉法人青森県社会福祉協議会)						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	地域包括ケアシステムの強化を図るため、生活支援コーディネーターの養成と実践力強化を推進する。						
	アウトカム指標：生活支援コーディネーターの資質向上						
事業の内容	生活支援コーディネーターを対象として～ ・養成のための基礎研修 ・実践力強化を目的とした研修 (2回シリーズ) ・情報の共有やネットワーク構築に資する情報交換会～を開催する。						
アウトプット指標	開催回数：4回、研修参加者数：160名						
アウトカムとアウトプットの関連	資質の向上や情報の共有等により、地域における効果的な活動につなげる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		2,951千円	基金充当額 (国費) における公民の別 (注1)	公	
	基金	国	1,967千円	民		1,967千円	
		県	984千円			うち受託事業等 (再掲)	
	その他	千円	1,967千円				
備考							

(事業No. 36)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業						
事業名	訪問介護サービス提供責任者研修事業					【総事業費】 597千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	県全域						
事業の実施主体	公益社団法人青森県老人福祉協会						
事業の期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	適切なアセスメントや訪問計画書の作成、事業所内での指導力等を推進するための資質の向上を図る。						
	アウトカム指標：サービス責任者の資質の向上						
事業の内容	訪問介護の現場を担うサービス提供責任者に対する研修を開催する。						
アウトプット指標	開催回数：2回、研修参加者数：160名						
アウトカムとアウトプットの関連	研修会の参加により、サービス提供責任者の資質の向上を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		597千円	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	
	基金	国		398千円		民	398千円
		県		199千円			
	その他			千円			うち受託事業等(再掲)
備考							